

平成 26 年度事業報告

1. 概要（理事長：長谷川 演）

理事長に就任してから早 1 年が経とうとしています。

各事業ともひとつの型に仕上がったものを動かすべきなのか？その余地はあるのか？

今までの流れに乗り、内側から、そして少し外れた所から見て、考える時間でした。

同時に、ただ何もせずとも自動操縦のように各事業全てがムダなく進行してゆく様には、JCD というプロフェッショナルのチームの完成度の高さを感じました。

このまま各事業とも停滞させないために目的を踏まえ、改めて再構築してゆく必要はあるのでしょうか。

まずは進化のための余白を感じつつ、滞りなく一歩前進した年でした。

2. 各事業の報告

(1) デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

JCD デザインアワード 2014 は、昨年同様 1. ショップ空間 2. 食空間 3. 大規模空間 4. サービス・エンターテイメント空間 5. 文化・公共コミュニケーション空間 6. 公共生活空間の 6 部門別でインターネットによる応募作品を募った。応募総数 473 点うち海外からは 53 点、昨年に比べ 25 点増の作品が寄せられた。

そのなかから審査員 34 名による一次審査で BEST100 の作品 110 点を選出。部門別の比率に応じて同票数の選出ラインを決定した。

二次審査は 6 月 5 日東京デザインセンターにて公開審査という形式で行われた。審査員は橋本夕紀夫を審査委員長とし小坂竜、JCD 外部からは浅子佳英、今村創平、笈川誠、都築響一、米谷ひろし各氏にお願いした。まず BEST100 から銀賞以上 26 作品を部門別に選出、そのなかからさらに金賞以上 7 作品を選び、最後に白熱した議論の末大賞 1 点を決定した。昨年度は大賞選出も公開議論とした。その他新人賞 5 点、審査員賞 4 点、海外賞 1 点も決定。

昨年は審査員の顔ぶれが個性的で、各賞の選出において相当白熱した議論が繰り広げられた。

副賞の提供は DN ライティング (株) 新人賞、ソランナアベニュー (株) 審査員賞、東リ (株) 新人賞、(株) 中川ケミカル新人賞、ダイソン (株) 審査員賞、不二サッシ (株) 新人賞+審査員賞、パナソニック (株) エコソリューションズ社新人賞+審査員賞、となっている。贈賞式は 2014 年 11 月 14 日ヒカリエホール B にてデザイナーズコネクションとの共同開催という形で行われた。

JCD デザインアワード 2015 贈賞式の後引き続きデザインメッセージとして中村拓志氏+構造担当者、都築響一氏、飯島直樹氏のトークセッションを行い、終了後出席者全員での立食パーティー交流会を行っている。贈賞式への参加者は 160 名。ステージ形式の贈賞式では

海外から HIKIDA チェアマンの Wesley Liu 氏にもご挨拶を頂いた。

(2) コミュニケーション委員会 (委員長: 窪田 茂)

平成 26 年度より、改めて広報委員会を設置し、JCD の PR 活動を積極的に行う委員会として立ち上げ、今までの SHOKANKYO を発行していた委員会は出版委員会と名前を替えました。

■シンポジウム委員会 (委員長 窪田茂)

SECTION56 の開催

昨年度 3 月 8 日、若手彫刻家の名和晃平氏をお招きし、「アートからデザイン、建築へ」というテーマでシンポジウム開催しました。今回は名和氏の希望もありトークセッションという形をとり、長谷川理事長と私窪田とで色々話を伺いました。約 200 名の人数が集まり、名和氏のアートに対する思想や考え方をお話頂き、それがデザインや建築に落とし込まれる時の発想などについて聞き、名和氏のあまりにも深い思想と、興味の範囲の広さに驚かされ、またその造形力に圧倒されるシンポジウムとなりました。

今回のように新たな角度からデザインを感じられた事は、JCD にとっても、聞きにこられた方にとっても、大変刺激のあるシンポジウムになったと思います。

■出版委員会 (委員長 古川紳太)

SHOKANKYO82 の発刊

シンポジウムの名和氏のレポートを始め、様々な記事を掲載しました。

今回のインタビューは毎年 JCD デザインワードを受賞しているタカラスペースデザインの若手デザイナー 2 人を中心にお話を伺いました。美容院というひとつのカテゴリーをデザインし続ける事の強さを感じられるインタビューとなりました。

また、JCD デザインアワードや JCD プロダクトオブザイヤーの結果を掲載し、JCD 関東で視察に行った「星のや 竹富島」のレポートも掲載しています。

本年度も年に 1 回の発行となりました。

■ 広報委員会 (委員長 飯島直樹)

JCD の認知度を向上させる事を目的に、HP、SNS (FACEBOOK など)、雑誌掲載などを活用して、日々の活動、各支部の活動を、JCD メンバーに限らず一般の方々にも伝わるようにしていく為に、改めて広報委員会を設置しました。

また、JCD アワードの国内に限らず、世界での認知度の向上を進め、アワードの応募数の増加、アワードの信頼性の向上、受賞作品の雑誌への掲載などに繋げていきたい。

(3) 国際委員会 (委員長: 武石正宣)

国際委員会は、この 5 年間をかけてイーストギャザリング (EG) をスタート、日本、香港、韓国の三つの参加国の持ち回りによる開催を経て、国際社会の中で孤立化ではない道を探してきました。

しかし、26 年度に行われる予定の韓国における開催がなくなり、EG として次にどのような

方法を取るのかを模索していましたが、26年度の終わりに APSDA の前会長であるフランシス氏が来日し、長谷川理事長と会談し、JCD の中では脱退して十数年を過ごしていたと思われる APSDA から再度参加をしてほしい要請と、もともと JCD はファウンダー国の一つであり、脱退をしている認識が無い事を話されました。

現在の APSDA の現状を知るべく、年末に行われた深祁インテリアデザイン会議の中での APSDA チェアマンミーティングに理事長と参加し、今後の JCD の選択の中で APSDA に対する再参加はあるのではないかと考えました。

それに引き続き、シンガポールで三月に開催されたメゾン、エ、オブジェの中での APSDA チェアマンミーティングに参加し、APSDA の中での JCD のあり方を検討致しました。

また EG に関しては、アジアパシフィックに拓げず、アジアイースト三カ国くらいで柔らかく開催しないかと香港のチェアマンからも打診があり、これからの話ですが今年度十月位に台湾のインテリアデザイン協会に話をし、日本、香港、台湾の三カ国による新 EG 開催、参加するかも知れません。

(4) 財務委員会（委員長：大道寺祥司）

本年度も、昨年同様菊池顧問公認会計士に会計諸表を作成して頂き、その上で監事 2 名による監査報告としました。

平成 26 年度決算については、第 1 号議案にて詳細を報告致しますが、今年度の事業活動収入は、昨年度に比べ正会員は若干の減でしたが賛助会員数増により会費収入は合計で若干の増収となりました。しかし事業収入が東京開催に伴う総会収入の大幅減で約 140 万円の減になりました。

結果、事業活動収入合計では昨年度決算額より約 100 万円減、予算に対しても約 70 万円減の約 3560 万円になりました。

事業活動支出合計は、総会費用が東京開催に伴う減等により昨年度より約 280 万円減、予算より若干減の 3220 万円となりました。

以上より、収支差額は昨年度より約 190 万増、予算よりは約 20 万円減の約 340 万円の黒字を確保できました。

本部及び 9 支部を個別にみますと、本部が数年来の累損を解消し、これで本部・9 支部全てが約 10 万円から約 280 万円の内部留保を確保でき、その総額は 1050 万円となりました。

一般社団法人への移行 2 年度目としては、良い結果となりました。

(5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

1：Soda 委員会（委員長：新藤 力）

平成 26 年度の出前授業形式ワークショップは、関東地区で 9 月 9 日(火)神奈川県相模原市立鹿島台小学校(6 年生 89 名対象/講師 19 名)、9/16(火)中野区立平和の森小学校(4 年生 103

名/講師 17 名)、11 月 14(金)・15(土)杉並区立和田小学校(6 年生 58 名対象/講師 14 名)、年が明けて 2/19(木)・20(金)の両日杉並区立浜田山小学校(6 年生 112 名対象/講師延べ 31 名)、沖縄支部主催では 12 月 4 日(木)那覇市立石嶺小学校(5 年生 143 名/講師 31 名)、年が明けて 2 月 26 日(木)うるま市立具志川小学校(6 年生 45 名/講師 22 名)で開催いたしました。また、初めての試みとして山梨県山中湖村立山中湖中学校 2 年生 42 名を対象に「建築とデザイン・照明の話」と題した 2 時限の座学を実施いたしました。平成 26 年度から小中学校で月に 1 度の土曜日授業が始まり、和田小学校のワークショップは土曜日授業での開催要請でした。土曜日授業は 3 時限なので前日の午後 1 時限のレクチャーを加えて実施いたしました。平和の森小学校では児童全員がダンボールの箱に 1 作品を制作し、11 月 20(木)～22(土)学校の体育館で開催された展覧会に「あったらいいな、こんなまち」として展示発表を行いました。このように、平成 26 年度は出前授業形式のプログラムを基本として新たな展開の可能性にチャレンジいたしました。また、北海道支部・九州支部での独自の活動も、ますます活発に実施されています。

タイアップ事業としては、7 月に開催の「六行会チルドレンズフェスティバル 2014」において、品川学園の 9 年生(中学 3 年生)を中心とした自治会(生徒会)が企画した「品学縁日～みんなが楽しめる縁日」のデザイン及び制作のお手伝いをしました。7 月 12(土)のフェスティバル当日(中学生 29 名参加/講師 17 名)は開店前から大勢の子供たちが並び、想定以上のお客さんの来場に商品の追加仕入れに先生も奔走。あらためて商業は店と客、双方の関係で成り立っていると感じました。8 月 23 日(日)は関西支部が大阪住まい情報センターとタイアップした「夏休み!親子 de 体験セミナー/こどもたちと創る商店街」を開催。小学生 24 名、保護者 21 名が参加して 18 店舗のモケイが完成しました。モケイ制作に先立ち天神橋筋商店街を視察、最後に制作したモケイを並べて子供たちの商店街をつくりました。

そのほか、6/10(火)に建築会館ホールで開催された「子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」においてポスターセッションに参加、Soda 活動を紹介いたしました。来場者から「私が子どもだったら Soda のワークショップを受けたい。」との声や「子どもたちにワンダーを!」と環境省総合環境政策室の先生からも励ましの言葉をいただきました。基調講演をされた東京大学の田口純子さんは浜田山小学校のワークショップを参観にいらしてくださいました。たくさんの実践者がいらっしやることも心強く感じました。また、平和の森小学校でのワークショップが「商店建築」誌の取材を受け、11 月号に掲載されました。このように平成 25 年度は Soda 活動を多くの人に知ってもらえる機会を得ることができま

2. 賛助委員会 (委員長: 森川 一)

当委員会は、正会員と賛助会員の相互のコミュニケーションを活性化させ、JCD の社会的地位の向上を図るために、平成 15 年度に設置された委員会です。賛助会員 3 名、正会員 4 名、で委員会を構成、12 年目の平成 26 年度は当協会の一般社団法人化、賛助委員長の交代に伴い、「新世紀」と位置づけ、以下の項目を企画・推進してまいりました。

① 賛助会員の本部・各支部連絡者名簿の更新

本部、各支部からの各種連絡事項の賛助会員の窓口となる連絡者の名簿を随時更新

し、最新版を本部、各支部にて活用できるよう推進しました。今年度も随時、賛助会員各社の名簿の電子化を本部事務局にて図ってもらいましたので継続して、更新見直しがし易くなっております。

② 「JCD Product of the year 2015」の実施

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助会員会社はその年の新商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。来年は 10 年目の節目でありその前の年ということで新製品の応募も [その年の]というくくりを取り払い [今年の一押し]ということで応募対象を広げ活性化を図りました。一昨年から新たな施策である支部賛助会社の参加も募り広く商品を会員に対して PR する事を第一にしました。

今年度は、賛助会員から 35 点の応募があり、正会員の 171 名から投票があり投票率が 40%となり一応成功をおさめました。しかし昨年に引き続き正会員の投票率低下が課題として残りました。本年度は一昨年提起のあった支部賛助会社の参加から 3 年目となり、新商品応募点数は初回に次ぐ応募があったとはいえ、今後の賛助会社の応募点数増加のためにも正会員の投票率アップは欠かせない事と考えます。賛助会員企業では、正会員への新商品の認知を期待していますので宜しくお願い致します。10 年の節目を迎える来年度はなるべく多くの正会員の方の投票を期待します。賛助会員におかれましては、新商品の正会員への認知に役立ちますし、ファイル形式にしたことで、次回まで 1 年間正会員の手元においていただけますので奮って応募をよろしく願いいたします。

活動の幅を広げるためにも支部賛助会員から全国賛助会員への変更をお勧めしますがプロダクトアワードに限りましては、賛助企業会員における JCD の魅力アップのため、引き続き支部賛助会員へ参加の幅を広げると共に新たなる施策も今後検討します。

また、ここ 8 年に亘る一連の作業で正会員および賛助会員の方の E メールアドレスが把握でき、今後のインターネットを活用した情報連絡網構築の礎になりました。一部正会員の方でまだ E メールアドレスを本部事務局にご連絡されていない方は、引き続きスピードアップ、コスト削減のために随時、事務局へご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

③ 賛助会員の拡大

引き続き JCD の発展への協力のため賛助会社の加入拡大のため、PR 活動を進めますが、過去より、日頃正会員皆様のお仕事上での繋がりのお声かけの協力が非常に大きいため引き続きの勧誘をお願いします。現在、今年度末で全国賛助 62 社、支部賛助 68 社となっております。

3 : 功労者選考委員会 (委員長 : 芝田良治)

■活動概要

当該委員会は、一般社団法人日本商環境設計家協会特別功労賞表彰規程に則り、平成 27 年度 JCD 特別功労賞候補者選考・推挙業務を円滑に推進する為、2014 年度において、以下の委員会活動を行った。

□第 28 (2014-2015 年度) 期 委員構成

第 28 期、平成 26-27 (2014~2015) 年度、下記委員が就任した。

(氏名：アイウエオ順：委員就任資格/所属支部)

小田秀樹：理事・支部長/関東 *小坂 竜：副理事長/関東 *白井進：副理事長/関西
大道寺祥司：理事・財務委員長/関東 *太細 通：専務理事/関東
星明臣：理事・業務委員長/関東 山田悦央：評議員/関西

計 7 名 (注：*印は規定指名者)

□活動抜粋

6~7 月 委員選出・委嘱
10~11 月末 全国支部長宛 候補者推薦依頼文書資料の作成。
推薦文雛形 4 種、歴代受賞・就任者一覧 4 種の作成・加筆修正。
11 月 15 日 上期理事会出席、上記委員会活動報告。
12 月 15 日 全国支部長宛、同上推薦文書 (含、添付資料) 配信。
同上~2 月 15 日 同上推薦文、募集期間。
1 月~2 月中旬 (注：候補者推薦文/各支部：到着分の配信・協議/電子委員会)。
(注：推薦候補者情報の支部長聞き取り (支部活動実績他) /平行作業)
支部別候補者の、資格要件確認。
支部長問い合わせ (対象者のみ・支部詳細活動実績他)。
その他議案の意見集約。
支部推薦候補者、検討→最終候補者選定/リアル委員会開催/東京。
(注：委員会推薦の有無・推薦者の検討等、含。)
3 月 5 日 委員会開催、JCD 本部。出席者 7 名。推挙候補者の最終選考。
3 月 5~9 日 一部候補者の支部長宛概況確認。支部功労賞 1 名、追加推挙、決定。
3 月 6~15 日 年度末理事会答申原稿 (2014 活動報告・2015 活動計画) の作成・事務局宛
送信。
3 月 21 日 理事長宛、候補者推挙、答申/下期理事会。(答申内容、別途参照)
4 月 3 日 総会用、当該委員会活動報告原稿の作成・事務局宛送信。
5 月 31 日 総会出席・報告。

■2014 年度 委員会答申

□選考過程

全国各支部より推薦された」候補者に対して、特別功労賞表彰規定に定める資格要件確認・検討の後、人望・実績等、推薦書面上からは判断し難い項目に関して意見交換の後、出席委員の評決を経て、最終候補者を選出し、3/21 理事会席上、理事長宛に候補者推挙/委員会答申

を行った。理事長は特別功労賞表彰規定に則り、理事会に諮問。以下の受賞者が理事会により決議・承認された。

□2014 年度受賞・2015 年度表彰者

種別	氏名	略歴他	役職/会員種別/所属支部
JCD特別功労賞	岩佐 達雄 (いわさ たつお)	1982年9月入会。会員歴、33年超 役員履歴、(1998～2013) 8期連続理事職。(内3期常任理事職) 役職履歴 旧広報副委員長を皮切りに、初代功労賞委員長、国際委員長、デザイン賞委員長を歴任。同一人物の本部3委員長歴任は、唯一の存在。	現評議員/正会員/関東支部 本部役員・役職歴任。

支部功労賞	山本 行洋 (やまもと ゆきひろ)	過去15年に渡り、支部賛助会員の牽引役として活躍。支部活動に多大な貢献。	宮地電機(株)執行役員/支部賛助 /四国支部
-------	-------------------	--------------------------------------	---------------------------

□名誉会員・評議員・顧問・参与 新任・継続確認 (2015年4月01日現在)

種別	氏名	略歴他	役職/会員種別/所属支部
・新規名誉会員	該当者、不在		
在籍名誉会員	2015/2/06、古畑名誉会員逝去に伴い、生存者在籍数、12名、1名減。		
・新任評議員	該当者、不在。		
在籍評議員	19名。変動なし。詳細別途資料参照		
・新任顧問	該当者、不在		
在籍顧問	2名、変動なし。詳細別途資料参照。		
・新任参与	該当者、不在。		
在籍参与	1名、変動なし。詳細別途資料参照。		

■資料：功労賞歴代受賞者一覧 (過去8年分)

表彰年度・種別 氏名/所属

《平成23-2011年度》 4名/特別功労賞 2名/支部功労賞

正会員： 赤木治仁/中国、大熊俊隆/関東、郷力憲治/関西、山本忠夫/関東、

賛助会員： 該当者無し

支部功労賞： 藤井栄一/関東

桑原孝典/支部賛助：(株)丹青TDC/関東、

《平成18-2006年度》 該当者無し/特別功労賞 1名/支部功労賞

正会員： 該当者無し

賛助会員： 該当者無し

支部功労賞： 田中務 (故人/推薦時) /関東支部、

《平成 19—2007 年度》 1 名/特別功労賞 3 名/支部功労賞

正会員： 野村武彦/関西
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 杉山榮一/関西支部、友田みのり/関西支部、
齊藤芳一/賛助：(株) タジマ/関東支部、

《平成 20—2008 年度》 3 名/特別功労賞

正会員： 沖本弘至/中国、黒川恭一/関東、武石馨/関東、
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 該当者無し

《平成 21—2009 年度》 3 名/特別功労賞 2 名/支部功労賞

正会員： 佐藤春夫/東北、里吉明/関西、間宮明雄/北海道、
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 金本正/四国支部、畑山成美/中国支部、

《平成 24—2012 年度》 2 名/特別功労賞 2 名/支部功労賞

正会員： 奥平与人/関東、西原勝/中国
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 亀井克二/関西
菅秀毅/支部賛助：カリモク家具(株)/関東、

《平成 25—2013 年度》 2 名/特別功労賞 5 名/支部功労賞

正会員： 井上秀美/四国、金沢明彦/関西、(*辞退：杉本貴志/関東)
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 小田切純子/関東、佐藤利明/北海道、玉井美歌男/関東、
東原淳夫/四国、故三嶽 穂積/関西、(*辞退：藤田義博/関東)
三好輝昌/支部賛助：(株) ブランドウモトハシ/関東、

《平成 26—2014 年度》 1 名/特別功労賞 0 名/支部功労賞

正会員： 金子洋伸/九州、(*繰延：寒川徹司/四国)
賛助会員： 該当者無し
支部功労賞： 該当者無し

(6) 支部長会議 (議長：加藤博正)

平成 26 年支部長会議は、10 月 20 日に行われた。

テーマ「集客動員数を増やす広報の考え方」

いくら素晴らしい企画で講演会やイベントを行っても集客数がなければ何の意味もない、また、お願いした講師や関係者にも申し訳が立たない、これは、JCD の広報の足りなさである。今まで、JCD としてすばらし企画は、したものの広報を考えた事は、あるだろうか？本部で開催する講演会で、本部で行っているセクションは 1000 人参加がある、素晴らしい事であるが、協

賛メーカーの力を借りて始めて実現している。

今回の支部長会議は、JCD としての広報の考え方を論議したい。

議題は、広報活動で事前に各支部長にお願いしてあったそれぞれの支部広報活動の実態を

報告してもらおう。各支部それぞれ事情があり、全国共通のやり方無理がある、おたがい良いところを学び取り入れる事とする。各支部よりフェースブック等のインターネットの利用をあげている、後の理事会で提案があった JCD 広報活動 外部サイト活用マニュアルを参考として動画ライブ配信方法を参考し各支部の広報活動参考にする。

(7) 支部事業

北海道支部 (支部長：高橋 恵)

平成 26 年度の事業方針

JCD という横のつながりを活かし、その活動を通して楽しめる事業を行う。

運営会議

【概要】 正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】 毎月 第一水曜日に開催しました。

北海道支部総会

【概要】 平成 25 年度活動及び収支報告、平成 25 年度活動計画、予算 (案) 承認など

【日程】 平成 26 年 4 月 17 日 (木) ジャスマックホテルにて

北海道支部若手会員飲み会

【概要】 これから JCD に入ってほしいと思う方々にお声をお掛けし、ざっくばらんな飲み会とし、JCD に入ってほしい人達に自由に語ってもらい、JCD として横のつながりがとても大切で、JCD に入って良かったと思って頂ける事を軽く説明し、入会をお誘いする事を主旨とします

【日程】 平成 26 年 7 月 18 日 (金)

【会場】 札幌市中央区南 2 条西 8 丁目 9-1 やきとりマルコにて

【成果】 JCD メンバー 6 名 賛助会員 3 名 その他の方 9 名の方の参加を頂きました。9 名の中から既に 2 人入会の申し込み書を頂き、2 名の方も入るとお話を頂いております。

第 15 回 JCD 北海道支部デザインキャンプ

【概要】 夏を楽しみながら会員同士の交流を深めよう

【日程】 平成 26 年 8 月 24 日 (土) ~ 25 日 (日) 1 泊 2 日 【参加人数】 14

【会場】 小樽市朝里川温泉 2 丁目 686

【成果】毎回、道外のゲストの方をお呼びしていましたが、今回は会員同士の交流を深めよう。という事でゲストはお呼びせず、バーベキューや卓球大会などで盛り上がりました。

SAPPORO DESIGN WEEK 2014 への参加

【共通日程】平成 26 年 10 月 22～26 日

【メイン会場】札幌駅前地下歩行空間

【概要】第一回 JCD 北海道デザインアワードを開催

【日程】会期中の応募作品のパネル展

平成 26 年 10 月 24 日（金） 最優秀賞の発表と授賞式を開催

【会場】札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホ札幌側イベントスペース

【ゲスト】審査委員長に小泉誠氏をお迎えし最優秀賞を決めて頂きました。

【成果】27 点の応募を頂き、パネル展も開催する事で JCD のことを知って頂く良い機会になりました。反省点も多くありますが、来年の開催に向け皆様のご意見も取り入れ良い企画にして行きたいと思っています。

Soda 桑園小学校

【概要】デザインを通しての社会活動。おみせづくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。専門家が講評・評価し、子供達に新たな発見や発想の機会を見いださせる。

【日程】平成 26 年 一回目 12 月 2 日（火） 二回目 12 月 5 日 三回目 12 月 15 日

【参加人数】小学生 131 名 JCD 会員 8 名 賛助会員 1 名 ボランティア 4 名

【会場】桑園小学校 札幌市中央区北 8 条西 17 丁目

【対象】6 年生 131 名 16 チーム

【講師】JCD 会員 8 名 賛助会員 1 名 ボランティア 4 名 その他素材ご提供企業多数

【成果】デザイン、仕事の楽しさを伝え、店舗の模型制作を通して楽しく作業してもらいました。プレゼンの大切さも理解してもらい。プレゼンテーションにも凝って発表してくれました。

クリスマスパーティー

【日程】平成 26 年 12 月 13 日（土）

【参加人数】150 名程度

【会場】Riviera Sapporo 札幌市中央区南 6 条西 4 丁目野口ビル B1F

【成果】毎年 JCD と HIPA 北海道インテリアプランナー協会との合同の恒例の行事でしたが参加人数が年々減ってきていることもあり、今年は札幌デザインウィーク実行委員会にも参加して頂き開催しました。結果、昨年 50 名強の参加でしたが今年は、150 名を超える参加人数となり、会場も熱気にあふれ盛り上がりました。

二次会は、10 月に行った第一回 JCD 北海道デザインアワードの打ち上げをかね JCD で別に行い 30 名を超える参加がありました。賞をとった方にきて頂き、作品を会場の居酒屋でうつつしながら作品について話しをしてもらいディスカッション等

繰り広げました。お酒も進んでくると 開催方法の内容等の意見も頂き来年に繋がる盛り上がりのある有意義な二次会になったと思います。

26 年度活動計画では、鍋塾を開催する予定でしたがクリスマスパーティーの二次会に多くの人に参加して頂くためやらない方向になりました。

東北支部（支部長：阿部秀夫）

平成 26 年度においても、H23/03/11 の東日本大震災の影響により、東北支部会員においては、震災復旧工事に多くの時間を必要とし、特に福島地区においては、深刻な原発問題が現在も進行中であり、協会活動を積極的に遂行する環境にありませんでした。

H26/06/17：賛助会員企業展示会参加 (DAIKO)

H26/06/20：被災地視察

- ・牡鹿半島鮎川港
- ・女川港
- ・南三陸町

H26/09/14：被災地視察

- ・石巻専修大学 ツールド東北

H26/10/30 東北支部幹部会議

- ・平成 26 年度本部総会報告
- ・平成 26 年度支部総会準備会議
- ・懇親会

H26/11/28：平成 26 年度 JCD 東北支部総会開催

- ・宮城地区にて開催
- ・平成 27 年度以降の活動内容検討
- ・集客動員数を増やす広報の考え方検討
- ・賛助会員商品説明会
- ・懇親会

関東支部（支部長・小田 秀樹）

*会員の増強と会員のイベント参加を促進する

今期も JCD の会員増強を図る。関東支部の会員が、本部活動や各委員会活動に積極的に参加していただける様に、各委員会活動のイベント内容を早めに告知し、関東支部会員・賛助会員のコミュニケーションを促進する。

■研究セミナー委員会：高村委員長

- 1) 5 月 15 日、新宿 OZON グラスルーチェにて、建築家で運営者である「山本和豊氏」より “New Land” についてうかがう会を開催
- 2) 7 月 25 日、青山 アンブラグド（高村）事務所にて、フルーツショップ&イベント会社社

長「成瀬氏」及びインテリアファブリック会社社長「関本氏」による、最近のアメリカ西海岸、東海岸の動向をうかがう会を開催。

- 3) 8月は関東支部「夏のパーティー開催」の為、調整
- 4) 9月25日、新宿 OZON グラスルーチェ SRにて、和傘職人「西堀氏」による、和傘技術とインテリアに関する内容をうかがう会を開催。
- 5) 11月14日、本部デザイン賞委員会における贈賞式及びデザインコネクションとの合同パーティー開催を支援。
- 6) 年末年始の“冬のパーティー&本部賀詞交歓会”等をはさみ、2月開催予定だったが、ゲストの都合で、3月12日オカムラ製作所 VISPLAY ショールームにて、ブランドプロデューサーの「細谷氏」から企業コミュニケーションの話をうかがう。

■支部賛助委員会：品川委員長

- 1) ほぼ月1回（6/4、7/2、9/3、10/1、11/16、1/7、2/4、3/4）の定例委員会を開催し、JCD正会員、賛助会員相互の向上のための意見交換を行なった。後半には、毎回数名の正会員にも参加をお願いし、正会員との交流を図った。
- 2) 賛助会員相互の親睦の為、6月7日（土）神奈川県愛甲郡清川にてバーベキュー大会を開催した。
- 3) 広報委員会と連携し、関東支部の広報機関誌に、賛助会員企業の紹介記事を掲載した。
- 4) 平成27年2月4日現在、支部賛助企業が27社に増えました。

■省エネCO2削減委員会：芝田委員長

※支部会員宛にメールによる情報発信

- 1) “2020年目標のスマートハウス具現化事業提案モデル”情報の、関東支部会員向け情報を発信Eメール発信/事務局・FaceBook活用
- 2) “CO2ゼロで発電、東芝が平成32年度に実用化、水素社会実現”情報の関東支部会員向け情報発信

■広報委員会：古川委員長

※今期の関東支部機関誌の発行報告（年3回実施）

- 1) 1回目（総会特集）PDFで会員にメールにて配信
- 2) 2回目（前期関東支部・活動報告）印刷媒体で400部印刷を送付
- 3) 3回目（後期関東支部・活動報告）PDFで会員にメールにて配信

■メディア委員会：吉田委員長

※HPの更新

- 1) 広報委員会：ネットワーク/3月※研究セミナー委員会：トーク/5月・7月・9月
- 2) 組織図新規作成：7月※交流委員会：夏・冬のパーティー/8月・12月
- 3) 25年度事業報告及び26年度事業計画/9月
- 4) 省エネCO2削減委員会：項目新規作成/7月・LEDシンポジウム/10月

- 5) ブログの更新：9月・10月・11月・12月※バックナンバーの整理：13年度分
- 6) 特別委員会：研修旅行の案内/12月
- 7) メールマガジンの更新：5月・7月（2回）・8月・9月（2回）・10月・11月・12月

■交流委員会：折原委員長

※支部会員及び賛助会員相互の交流を深める事と新規会員の獲得を目的に、半期に一度の夏・冬のパーティーイベントを開催。

1) 夏のパーティー

(8月1日・青山「ロイヤルガーデンカフェ」参加者119名・展示賛助会員9社)

今回は、10年会理事長を務めていただいた「飯島前理事長を労う会」を開催

サプライゲストに杉本貴志氏、近藤康夫氏を迎え、スピーチをいただいた

記念品贈呈には、参加いただいた会員と賛助会員の皆様にメッセージ入のチャンピオンベルトをプロキックボクサーの、高橋勝次氏から贈呈していただいた。可能な可成りの会員のビデオメッセージ等、時間内で消火するには内容が濃かったが、多くの参加者に恵まれ大成功に終わった。

2) 冬のパーティー

(12月1日・渋谷「東京メインダイニング」参加者104名・展示賛助会員7社)

「年忘れ」の意味で、冬のパーティーは毎回楽しい志向をこらそうと思っていたが

今回はモノマネ芸人「ジョーク東郷さん」を再び迎え、ネタ披露と後のMCまでお手伝いいただき楽しい会になった。賛助会員の協力もあってビンゴゲームの内容も充実した。

■特別委員会：星委員長

※特別委員会委員長をつとめて、最初の1年でしたが、本年度の活動は「支部研修旅行」に終始しました。当初計画しました「飛騨白河～飛騨高山」は、御岳山の噴火と言う自然災害に遭遇し、中断しました。噴火はたまたまでしたが、参加者を積極的に勧誘出来る状況では無く成り結局中止しました。

会員の意向を再度ヒアリングして、リゾート施設の視察を目的に「石垣島～竹富島」を計画2月22日～24日に、12名の会員参加を得て実施いたしました。幸い「星のリゾート社」の多大な協力を得て「リゾートレー小浜島」「星のや竹富島」の施設コンセプト・稼働率・意匠計画など、現地の広報担当者から丁寧な説明を受ける事ができました。追って、支部機関誌や商環境誌上で視察報告がされます。

今回、研修旅行の実施に於いて気になった事は、2泊3日の期間・費用¥36,000円・60日前予約などありましたが、参加者の皆様には満足していただけたと感じております。

中部支部（支部長：不破淳二）

2014

4月

○「JCD 中部支部全体会議 1」

-4月8日（火）/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

5月

○「JCD 中部支部全体会議 2」

-5月14日(水)/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

- ・今回から今後の全体会議は正会員、賛助会員合同で開催することに。

6月

●『JCD 中部支部総会』

-6月25日(金)/美食みその亭

- ・新支部長としての初の中部支部総会を懇親会形式で正会員、賛助会員約32名で開催

8月

○「JCD 中部支部全体会議 3」

-8月28日(木)/ナディアパーク 7F ラボ 10号会議室

10月

○「JCD 中部支部全体会議 4」

-10月27日(月)/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

11月

○「JCD 中部支部役員会」

-11月5日(水)/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

●『メッセナゴヤ 2014 名古屋商工会議所+中部デザイン団体協議会 デザインなんでも無料相談 “それはデザイナーに聞け!”』(無料相談会)

-11月5日(水)~8日(土)/名古屋港金城埠頭ポートメッセなごや

- ・中部15のデザイン団体によるデザイン団体協議会と名古屋商工会議所協同で各デザインジャンルでの無料相談コーナー実施。亀井寿子、横井祐一会員が講師参加

○「JCD 中部支部全体会議 5」

-11月19日(水)/ナディアパーク 7F ラボ 10号会議室

12月

●『JCD 中部支部忘年会』

-12月16日(火)/テレビ塔 4F The Park Banquet

- ・名古屋の中心部のテレビ塔 4F のレストランで約35名の正会員、賛助会員、招待者等で開催。

2015

1月

●中部デザイン団体協議会『デザイントーク×14・交流会』

-1月10日(土)/国際デザインセンター7F・4F

- ・JCDも参加している中部デザイン団体協議会(中部の15のデザイン団体で構成)主催のデザイントーク、および交流会。JCDからは若手の中川健司会員がプレゼンテーション

●中部デザイン団体協議会展覧会『CHUBUのCUBE デザイナーのおはこ展』

-1月7日(水)~11日(日)/国際デザインセンター4F デザインギャラリー

- ・15のデザイン団体の篤志がそれぞれタテ、ヨコ、高さ30cmの立方体空間の作品を制作し、

展示を行うというイベント。JCD 中部支部からは、加藤和雄、伊藤孝紀会員が作品を展示
○JCD 中部支部ヤングデザインアワード作品審査
-1月28日(水)/鳥居デザイン事務所

2月

●『JCD 中部支部ヤングデザインアワード (デザイントリプレックス 11 併催)』

* 展覧会

-2月17日(火)～26日(木)/セントラルパーク セントラルギャラリー

・ヤングデザインアワードの作品展覧会を名古屋の中心部で開催。2万人/1日の観覧者

* 贈賞式

-2月24日(火)/テレビ塔 The Park Banquet

・JCD ヤングデザインアワードの贈賞式を開催。応募点数38点からグランプリ1、金賞2、
支部長賞・パナソニック賞1、東海地区長賞1、銀賞5作品を選定。

●『デザイントリプレックス 11』

* 展覧会

-2月17日(火)～26日(木)/セントラルパーク セントラルギャラリー

* シンポジウム・懇親会

-2月17日(火)/名古屋パルコ センリユリーシネマ

・トヨタ産業技術記念館のデザインをされた乃村工藝社の吉永光秀氏、クライアントの
事務局の広野透氏をお迎えして映画館を借り切りシンポジウムを開催

●『デザインフォーラム&入賞作品パネル展』(北陸地区)

* 展覧会

-2月14日(土)～20日(金)/金沢美術工芸大学研究所2階展示室

* シンポジウム

-2月14日(土)/金沢美術工芸大学2階視聴覚教室

・金沢美大、武蔵美大、多摩美大OBの沖津真美氏、山本大介氏、渡辺太郎氏をお招き
して「美大を卒業して、デザインの現場で働く」という学生に分かりやすいテーマで
開催。

関西支部 (支部長:長町志穂)

■平成26年度 関西支部事業基本方針

1. 組織構成を見直し、支部の再構築を目指す。支部長補佐として山田評議員が参画。

【組織検討委員会】 会員増強の強化策の検討 委員長:東 潤一郎 相談役:金沢明彦

【研究委員会】 デザインによる社会貢献・・・SODA 事業 委員長:中村裕輔 副委員長:
蒲 秀樹

【広報委員会】 会員相互における情報の共有化 委員長:大東俊也 相談役:白井 進

【交流委員会】 会員の親睦を図る交流会開催 委員長:浦田恭資 相談役:衣笠和宏

【新・賛助委員会】 賛助会員との相互協力関係の構築 委員長:山田悦央 担当理事:衣
笠和宏

【デザイン団体連携委員会】各デザイン団体との関係強化 委員長：松本浩作 相談役：
山田悦央

■実施活動報告

1. SODA 事業 実施 8月23日(土) 大阪市住まい情報センター 参加者45名
地元商店街の見学後に親子で店舗模型を制作。非常に講評を得る。
正会員のサポート参加率も高く JCD 会員イベントとしての評価も
できる。27年度の大阪市タイアップ事業審査においても事業採用
通知受理。
2. 関西学生シンポジウム 10月17日(金) グランフロント大阪・サンワカンパニーSR
「おもてなしのデザイン」をテーマに、4団体(4校)の学生発
表。
同時期開催のデザインイベント「まちデコール」とも連動し盛
況に終る。
3. USD-0 共働 1. 大阪勧業展への協力
2. 大阪府事業への協力「売れる店づくりビフォーアフター」(11/6)
4. 「大阪デザインサロン」 第16回「動画で見るミラノサローネ」(7/29)
第17回「コートのように簡単に着れる着物のデザイン」(9/2)

大阪デザインセンター「SEMBA」リニューアルオープン交流会 (10/10)

- 第18回「まちデコール/関西学生シンポジウム」として実施
(10/17)
 - 第19回「なんでバスなん？」(11/14)
 - 第20回「100の言葉より一枚のスケッチ～絵心不要スケッチ
のコツ」(12/19)
 - 第21回「著書「ロゴロジック」番外編～裏話とその後 CID Lab
の高田雄吉氏 (1/30)
 - 第21回「欧州2大インテリア見本市の最新情報」キヌガワ衣
川正一 (2/27)
 - 第22回「中国の展示会に出展したデザイナーが見て感じたこ
と～その後」(3/6)
 - 第23回「～想い描いたものを商品化する破天荒デザイナーの
あの手この手」(3/13)
5. 日本の空間デザイン展 実施・・・松本委員長
日時：平成26年11月20日(木)～26日(水) 11：
00～19：00

会場：(株) サンワカンパニー 大阪SR グランフロント
大阪 ナレッジキャピタル5F

6. 「夏のビアパーティ」・・・悪天候により中止
7. 「JCDクリスマスパーティ」実施・・・浦田委員長 「上方落語に学ぶ「おもてなし」の極意」
日時：平成26年12月2日 北堀江
[RESTAURANT CONTACT]
50名に近い参加者により盛会に終わる。落語企画は好評であった。
8. 「JCD・Kansai」の発刊・・・2015年3月末 配布予定
9. 「賛助サロン」の開始・・・第1回 2月27日 (株式会社キヌガワ)
・・・第2回 3月20日 (大阪府の取組み等・山田)

中国支部 (支部長：深田勝哉)

26年度の中国支部の活動方針、「地域に必要とされるデザイン」をテーマに一年間活動する予定です。従来の組織を見直し、会員が活動しやすい環境を作り、できるだけ多くの会員が参加できるようにしたいと考えています。中心となっている広島、岡山だけでなく中国5県全県での活動、各地域とのかかわりのなかでJCDの立ち位置を明確にし、地域にとってなくてはならない団体としてあり続けたいと考えています。そして、会員相互のコミュニケーション、また若い新会員を増やし、新しい組織として活気ある支部創りを目標にしています。

■ 26年度活動内容

○組織改革

今まで活動の中心となっている会員と、次の世代を担っていく若い会員で新たな組織を作り、若い会員が活動しやすい環境づくりを目指した組織を、再構築したいと考えています。

○地域活動

今まで岡山、広島で続けてきているデザインイベント、現在は「広島デザインデイズ」として4回を数えます。広島を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学、専門学校、地元商店連合会など参加者も増え、今後はさらに地域とのコミュニケーションを図りながら広島に根付いたデザイン活動として進めたいと考えます。

○例会活動

今までの例会では、本部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打ち合わせなど、必要最小限の内容でした。これからは、毎回新しいプログラムを検討しデザインを中心としたスタディーセッションをしたいと思っています。デザインの考え方をぶつけ合う場として盛り上げればと考えています。

○親睦活動

中国支部内での会員相互の親睦を目的とし、イベントの計画をします。

通年：他支部との交流活動。

ミニデザインキャンプの計画。デザインツアー、国内外を問わず新しいデザインに触れる旅を計画します。

例会後、各地での懇親会

夏：ミニデザインキャンプの計画。

冬：デザイナー交流会「鍋塾」の計画。

○活動予定

- | | | | |
|--------|------------|------------------------|-----------------|
| 4月26日 | JCD中国支部総会 | 26年度事業計画発表、委員会編成 | 岡山市内 |
| 5月24日 | 第二回 | 2014年 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市内 |
| 5月31日 | | 26年度定時総会 | 東京都内 |
| 6月28日 | 第三回 | 2014年 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市内 |
| 7月12日 | 第二回 | JCD中国支部例会 | |
| | | 第一回ミニセミナー（大光電機株式会社） | 福山市内 |
| 7月26日 | 第四回 | 2014年 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市内 |
| 8月8日 | 第三回 | JCD中国支部例会 | 広島市内 |
| 8月8日 | | ミニデザインキャンプ&ビアパーティー | 広島市内 |
| 8月8日 | 第五回 | 2014年 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市内 |
| 9月20日 | 第六回 | 2014年 広島デザインウィーク準備委員会 | 広島市内 |
| 10月17日 | 第四回 | JCD中国支部例会 | |
| | | 第二回ミニセミナー（株式会社サカイ） | 岡山市内 |
| 11月2日 | 中四国合同研修ツアー | シンガポール(新しいデザインに触れる旅) | ／シンガポール |
| 12月14日 | 2014年 | 広島デザインウィーク3日間 | |
| | | | 12月12日～14日／広島市内 |
| 12月14日 | 第五回 | JCD中国支部例会 | 広島市内 |
| 12月14日 | | JCD中国支部大忘年会&クリスマスパーティー | 広島市内 |
| 1月24日 | 第六回 | JCD中国支部例会&新年大新年会 | 福山市内 |
| 3月20日 | 第七回 | JCD中国支部例会 | 瀬戸内の島 |

四国支部（支部長：香川眞二）

■活動内容

- | | | | |
|--------------|--------|------------------------------|----------|
| 4月5日 | 例会（花見） | →雨天の為中止 | 担当：運営委員会 |
| 4月23日 18:00～ | 例会 | 第1回臨時理事会報告・定時総会報告・H26年度事業計画に | ついて |
| 5月22日 11:00～ | 委員長会 | H27年度四国総会準備実行委員会 | |
| | | H27年度四国総会準備実行委員会 | |
| | | 本部：5月31日平成26年定時総会参加 | |

- 6月21日 18:30～ 例会 定時総会について／担当：運営委員会
四国電気（株）尾崎氏正会員復帰報告／担当：交流委員会
会員レポート 愛知より旭中部資材さんより新商品 PR、正会員
生田氏より多度津町再開発プラン・町開発の活動報告
- 7月28日 11:00～ 委員長会 SDA との懇親会、関東支部（飯島前理事長お疲れ様会）
報告、中国支部合同例会（シンガポール研修）について、H27
年度四国総会準備実行委員会
- 8月22日 18:30～ 例会 定時総会について／担当：運営委員会、交流委員会
- 9月4日、11日 ミラノサローネレポートセミナー参加
H27年度四国総会準備実行委員会／担当：運営委員会
他団体との交流：9月20日・21日 瀬戸内生活工芸祭 2014 後援
- 10月2日 委員長会 定時総会について
年間行事、支部長会議のテーマについて／担当：運営委員会
- 10月23日 LED フェア&セミナー会員参加
- 10月30日～11月2日 中国支部との合同例会（シンガポール研修）
他団体との交流：10月30日～31日 地元企業主催展示会にて
JCD・SDA デザインアワード合同パネル展開催
- 11月12日 シンガポール研修報告
H27年度四国総会準備実行委員会
- 12月18日 例会（忘年会）17:30～
支部功労賞、会員増強案、広報活動、予算書・決算書・事業報告書に
ついて
定時総会全国出欠のまとめ報告／担当：運営委員会
他団体との交流：SDA さんとの合同交流会
- 1月30日 11:30～ 委員長会
賀詞交歓会報告、H27年度四国総会準備実行委員会、
SODA 事業 H27年度実施検討
本部：1月27日 2015年賀詞交歓会参加（神田明神にて）
他団体との交流：専門学校穴吹デザインカレッジ
2015年デザイン展後援
- 2月6日 デザイン協会ブランディングセミナー参加
- 2月17日 委員長会／担当：運営委員会
- 2月28日 松山例会 松山の正会員との交流会
H27年度四国総会準備実行委員会
- 2月28日～3月1日 四国デザインサミット in 愛媛講演会参加

◎来期は、いよいよ四国での定例理事会・定時総会です。充実した総会になるよう努力
していこうと思います。今期は、SODA 事業が具体化できなかったのが、来期は具体的
に執り行うよう推し進めていこうと思います。他支部との合同例会は、有意義なもの

となりました。来年度も、SDA さんとの交流を図っていききたいと思います。

九州支部（支部長：原田啓二）

■ 交流委員会

○毎月/月例会の開催

毎月第三金曜日に、エイムクリエイツ様ミーティングルームをお借りして、今後の活動打合せや検討会と、賛助会員のセミナーや商品紹介など、情報交換を行いました。

○7月/ゴジラ特撮美術監督（故）井上監督展参加

古賀市出身の井上特撮監督のワークショップに参加し、地域の小学生と未来の古賀市の町並みを製作の上、九州産業大学映画部協力のもと、「特撮！、地球温暖化怪獣暴れる！」というタイトルのミニ映画撮影と試写会が開催されました。

○10月/JCD デザインアワード 2014 展

SDA と合同開催しました。

○11月/デザインスクールキャラバン開催

南当仁小学校の5年生の児童と、福岡オリンピック開催想定のもと、「わたしたちのまちに、オリンピックがきた！」というテーマを掲げ、大濠公園を中心としたオリンピック会場と選手村等の製作をしました。

九州デザイナー学院の学生8名も特別参加し、交流しました。

○12月・1月/忘年会・新年会開催

正会員と賛助会員にて、忘年会と新年会を行い、日頃と異なった情報交換ができました。

○3月/専門学校/九州デザイナー学院ワークショップ参加

学校法人九州安達学園が行う、中高校生の為の「300の仕事フェスタ」に参加し、学園の行う進路選択サポートボランティア事業に協力しました。

■ 広報委員会

○随時/支部 SNS 等の検討

部ホームページの見直しと、会員ブログや facebook などの SNS 開設や運営方法などの検討を行いました。広報については、これからも随時永く検討調整を続けていきます。

■ 業務委員会

○随時/FUKUOKA デザインリーグ運営会議出席

FUKUOKA デザインリーグに継続参加しています。

○10月/教育機関との提携

専門学校における文部科学省認定「職業実践専門課程」スタートに伴い、九州デザイナー学院と教育課程編成委員として、提携いたしました。

○10月～27年度/地域活性化事業の模索

<九州デザイナー学院の行うカリキュラムに、協力参加>

商店街活性化カリキュラムを行う九州デザイナー学院が、地元商店街において具体的な活性デザイン提案を行う旨、ソフト面からハード面まで全面的に支援監修協力を行います。

これは、新規取組みであり、地域活性化事業としての確立を目指し模索中です。

<総括>

前金子支部長からバトンを頂き、当初は要領もよく分からずでしたが、会員皆様から助けを頂き、早くも一年となりました。有り難うございました。

九州支部では、主活動である「デザインスクールキャラバン」は16年目を迎え、毎回高評価を頂き、継続活動を考えています。

それとは別に、主活動になりうる「何か?」を只今模索しております。

支部の月例会を毎月定例開催し、支部内検討会議と賛助会員との情報交換などの会員交流をしていますが、出席者が毎回固定している現状が、少々気になっております。

例会議事録を、全会員にメール発信するなどし、もう少し動きが出る様期待しています。

最大の課題は、新会員の増強です。26年度は皆様のご協力により、2名増員しました。

更なる拡大の為、JCDアワード出品者に、ダイレクトメールにて入会の案内など行う予定です。

沖縄支部（支部長：山里健市）

- | | |
|--------|---|
| H26年4月 | ◇支部定例会の開催
今年度の活動について |
| 5月 | ◇インテリア産業協会・インテリアコーディネーター協会・JAGDAとの
交流会に参加。今後、共有できそうなイベント等の意見交換を行った。 |
| 6月 | ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告 |
| 8月 | ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
◇夏のバーベキュー開催（正会員・賛助会員・ゲスト）
今後のイベント企画や、JCDの活動等を再発信。 |

- 10月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
◇コンベンションセンターにて毎年開催される「トータルリビングショー」へ
今年より参加。インテリア産業協会のブースにて JCD 沖縄支部は来場者の子供達を対象に店舗模型を製作。3日間で 100組位の来場があり、今後も継続できるイベントとして手ごたえを感じた。
- 12月 ◇支部定例会の開催
◇SODA ワークショップを 石嶺小学校 5年生を対象に行った。
児童数 143名という事で、他団体にも講師協力をお願いし、20グループに分けて、何とか予定通り開催することができた。
◇沖縄支部 忘年会の開催。
SODA 石嶺小の打上げも兼ねて行った為、本部からも2名、インテリア産業協会、インテリアコーディネーター協会も参加頂き、盛大に行った。
- 2月 ◇支部定例会の開催
◇SODA ワークショップを 具志川小学校 6年生を対象に行った。
児童数 45名9グループに分かれ 本部からも3名応援頂き、無事開催できた。

正会員それぞれが多忙の中、SODA 活動については、年2回の開催目標を達成することができました。他のイベントや企画については、模索中ですが、少しずつ前に進め、定着していければと思います。

3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会 (1回)

平成 26 年度定時総会

期日：平成 26 年 5 月 31 日 会場：ライオン銀座クラシックホール

社員出席：223 (内委任状 164、議決権行使 16) 名

理事会 (3回)

第 1 回定例理事会 期日：平成 26 年 5 月 31 日

会場：ライオン銀座クラシックホール

出席理事：22 名

第 1 回臨時理事会 期日：平成 26 年 5 月 31 日

会場：ライオン銀座クラシックホール 出席理事：19名
 第2回定例理事会 期日：平成26年11月15日 会場：JCD事務局
 出席理事：22名
 第2回臨時理事会 期日：平成27年3月21日 会場：JCD事務局
 出席理事：21名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、4委員会活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2015に参加した。

日本経済新聞社「JAPAN SHOP2015」、「建築建材展 2015」、一般社団法人日本ショッピングセンター協会「第39回日本ショッピングセンター全国大会」、カフェ・喫茶ショー実行委員会「Tokyo cafe show & Conference 2015 -カフェ・喫茶ショー2015」等への協賛・協力を行った。

4. 会員の移動状況

	25年度期末	年度内増	年度内減	26年度期末
正会員	414名	28名	34名	408名
賛助会員	124社	19社	14社	129社
名誉会員	13名	0名	1名	12名

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の34名である。

・退会申し出による者 30名

- (北海道支部) 河合博隆、北嶋 仁、佐藤利明、鈴木淳司
- (東北支部) 岩川哲雄、菅野直志
- (関東支部) 内田信吾、笈川 誠、小野島潤、金山正志、河合秀郎、佐藤栄次、鈴木進一郎、福島勇人、村松功勝、山本利夫
- (中部支部) 酒井大輔、坂井芳宣
- (関西支部) 赤松 茂、岩下博美、老田徳廣、蒲 秀樹、西村克己、横山一博
- (中国支部) 井上ちほ子、檀上鎮通、広兼高士
- (四国支部) 川西 修、
- (九州支部) 坂本 泉、千々岩清英

・会費未納による者 4名

- (関東支部) 荒井 徹、金子友司、黒坂伸也
- (沖縄支部) 内間寛人